

報道関係各位

2016年12月27日

モリタ「企業連携消防団」を結成
兵庫県が消防団の加入促進を目指して設けたモデル事業「企業連携消防団」
兵庫県第1号として任命

株式会社モリタホールディングス

当社の連結子会社である株式会社モリタ（本社：兵庫、代表取締役社長：尾形和美）では、三田工場で働く社員5名による「企業連携消防団」を結成し、兵庫県が消防団の加入促進を目指して設けたモデル事業「企業連携消防団」へ加入、そして、2016年12月21日付で兵庫県第1号「企業連携消防団」として任命されました。



三田市企業連携消防団発足式

消防団は、市町村の非常備の消防機関であり、その構成員である消防団員は、他に本業を持ちながらも、権限と責任を有する非常勤特別職の地方公務員として、「自らの地域は自ら守る」という郷土愛護の精神に基づき、消防活動を行っています（消防白書より）。

今回の「企業連携消防団」結成にあたっては、兵庫県が消防団への加入促進を目指して設けたモデル事業に対して、「安全で住みよい豊かな社会」に貢献するという企業理念のもと三田市テクノパークの「安心・安全」を守っていくことが消防車メーカーとしての使命であると考え、企業連携消防団に加入、結成いたしました。

なお、三田市では、消防団員数は704人で、約8割が会社員で昼間の災害対応が難しくなっているため、今年度より、地域社会の一員として企業にも消防団活動を担ってもらう「企業連携消防団」を設置するモデル事業を立ち上げ、企業への加入を募る活動を開始していました。

モリタは、2008年に兵庫県三田市（テクノパーク1番地の5）へ、本社と大阪府に4か所あった消防車の製造工場を移転。日本の消防車の55%以上がこの工場で作られ、全国の自治体へ納入しています。

モリタグループの工場が位置するテクノパークと第2テクノパーク（企業数約50社）で発生した災害に対して、三田市の消防団長からの指示で出動することになります。

今回の5人の消防団員は、工場周辺に住む30～40代のモリタの社員で、消防団本部の直轄班として活動することになります。活動時間は、工場稼働日の勤務時間（9時～17時）となります。

本件に関するお問合せ先
株式会社モリタホールディングス 広報室 担当：浦野 TEL:03-5777-5088